

新型コロナウイルスワクチン接種事業について



深田 照明 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 ワクチン接種の予定について。

答 3月8日から加西病院の医療従事者等で接種を開始しています。続いて65歳以上の高齢者、65歳未満の基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従業員、一般の方々と続いていきます。ワクチン入荷状況が不明ですが、5月には高齢者の方の集団接種を始めたいと考えています。

問 集団接種会場の場所と運営について。

答 会場は健康福祉会館を予定し、1週間のうち5回は午後、1回は午前を予定し、1日最大300人の接種ができるよう調整をしています。医師会の先生方のご協力も得て、医師、看護師等のスタッフ確保に努めています。

問 将来的に接種できる医療機関について。

答 将来的にはかかりつけ医等の診療所、加西病院や他の医療機関でも接種可能となるよう、冷凍庫やワクチンの供給状況を見ながら調整していきます。

問 市民への接種案内や広報について。

答 接種券郵送時に接種場所や予約方法の説明、また接種についての留意点などを記載したチラシを同封し周知を図ります。その他、市の広報紙や他の紙媒体、イーナカサイのアプリ、加西

市ホームページなどを使って情報をお伝えしていきます。

問 ワクチン接種後の副反応対策について。

答 接種後20分程度の観察時間をおいて確認し、もし副反応があれば、すぐに医師が対応します。数時間後の遅発性副反応に対する問合せやすぐに救急受診が必要な時は、加西病院で対応する態勢を整えています。

問 相談窓口と問合せの対応について。

答 接種事業を進めるために新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置し、広報や接種券配送、予約受付、様々な問合せ対応などを行う窓口整備を進めています。具体的な予約や問合せにはコールセンターを設置し、相談、接種予約、接種場所の案内等を行っています。

小野加東加西環境施設事務組合 管理者の決定事項について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 12月議会での一般質問に引き続き、小野クリーンセンターの状況についてお尋ねしたい。1月29日に開かれた管理者会での決定事項について、まず撤去時の費用負担の合意内容は。

答 平成26年4月に加西市が加入する以前に投資したものに対する加西市の撤去費用の負担はありません。加入後に取得した資産については応分の撤去費用を負担することになりますが、廃炉費用負担に係る資産形成に当た

るかどうか、毎年度予算編成時に協議し決定することとなります。

問 新たな施設の設置について。

答 新施設の設置は、小野クリーンセンターの基幹設備の更新の必要が高まるであろう令和10年度を目標としており、小野市内に設置することを確認しています。新施設設置に当たっては、施設の内容、周辺整備事業も含めた経費、費用負担等を管理者会や組合議会で十分に協議し、構成市の理解も得ながら進めていくことが重要と考えます。

問 職員の派遣について。

答 (市長) 当面は各構成市の所管課長が兼務し、組合事務局と一緒に新施設整備に向けて先

進地事例の調査研究などを行っていくこととなります。加西市の職員はリーダーとして派遣することになっています。

問 事務組合を運営するに当たっての市長の総合的な考えについて。

答 (市長) 自治体にとって将来にわたり持続可能なごみ処理体制の確保は、市民生活の最も重要な課題です。財政状況等を勘案すれば、ごみ処理の広域化、集約化により施設整備費、処理費、維持管理費を削減し安定的で効率的なごみ処理体制を継続することが必要です。今後は構成市の考えや解釈に疑念が生じないように、決定事項の文書化、規約化等を求め、お互いの信頼関係をさらに強めるとともに、市民や議会ともしっかり情報共有して認識を共通のものとしていきたいと考えます。